

## 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 中央化学株式会社

コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 宇川 進

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画担当 経営企画 (氏名) 中野 保則  
 本部長兼広報IR部長

TEL 048-540-2805

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	28,275	△2.2	452	△45.7	230	△66.8	184	8.0
23年12月期第2四半期	28,906	△4.5	833	△25.8	694	△14.8	171	△82.6

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 197百万円 (23.4%) 23年12月期第2四半期 159百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	9.17	—
23年12月期第2四半期	8.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	46,352	15,104	32.6
23年12月期	51,345	14,907	29.0

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 15,104百万円 23年12月期 14,907百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△4.0	1,600	△38.7	1,200	△48.3	900	△46.6	44.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	21,040,000 株	23年12月期	21,040,000 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	890,950 株	23年12月期	890,902 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	20,149,077 株	23年12月期2Q	20,149,098 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業による投資活動に持ち直しの動きがみられたものの、欧州諸国における財政不安の継続や国内での消費税引上げ懸念・年金制度改革議論などによる景気の先行きへの不安感の強まりなどから、消費マインドは伸び悩み、デフレ・低価格志向・節約志向が進行する状況となりました。消費の中でも、当食品包装容器業界に極めて関連性の深いスーパー・百貨店・その他一般食品加工業界においては、5・6月の台風到来や天候不順などからコンビニエンスストアを除き売上高が軒並み前年を下回る状況で推移し、当社製品の販売数量・販売価格もその影響を大きく受ける結果となりました。

このような状況のなか、当社グループの国内では、1月31日から2月4日に東京オフィスにて「Spring Fair 2012」を開催し、今年度春の上市新製品の発表や春夏イベント等案内など、各種販売促進に努めるとともに、お客様を基点とした提案型営業の強化に努めました。特に独自素材であるSD・SPP（製品名）などの新製品を市場に投入し需要の掘り起こしなどにも努めたものの、投入タイミングやその規模からは投入効果が顕著に現れるのは年央・後半であるため、当該新製品による第2四半期累計期間での売上増加は限定的なものにとどまりました。また、低調に推移する販売の状況を打開すべく第2四半期半ばからは、市場奪取に向けた価格政策も展開いたしました。前述の通り、天候不順の影響などもあり販売数量を著しく増加させるまでには至りませんでした。

中国においては、第2四半期の実質GDP成長率は7.6%に低下しましたが、安全・安心な当社グループ製品に対する安定的な需要はあるため、中国における連結子会社5社の経営資源を効率的に利用し、グループ全体の競争力強化を図って参りましたが、一部素材の製造・販売を取りやめたことを主因に減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が28,275百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益452百万円（前年同期比45.7%減）、経常利益230百万円（前年同期比66.8%減）、当期純利益184百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

資産は、現金及び預金が3,426百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ4,993百万円減少し46,352百万円となりました。

## (負債)

負債は、長期借入金が8,329百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1,062百万円、短期借入金が12,202百万円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ5,190百万円減少し31,247百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、四半期純利益184百万円等により、前連結会計年度末に比べ197百万円増加し15,104百万円となり、自己資本比率は32.6%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ3,426百万円減少し、4,476百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,322百万円（前年同期比263百万円減少）となりました。これは減価償却費1,075百万円、売上債権の減少2,355百万円等があった一方、仕入債務の減少1,122百万円やたな卸資産の増加1,350百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、519百万円（前年同期比318百万円減少）となりました。これは、固定資産の取得546百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、4,240百万円（前年同期比2,929百万円減少）となりました。これは、長期借入による収入10,000百万円があった一方、短期借入金の純減額13,089百万円や長期借入金の返済786百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年2月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成24年8月9日）公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1 四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,902	4,476
受取手形及び売掛金	13,111	10,789
商品及び製品	5,310	6,679
仕掛品	666	673
原材料及び貯蔵品	1,293	1,290
繰延税金資産	300	241
その他	2,231	1,920
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	30,801	26,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,562	6,471
機械装置及び運搬具（純額）	3,237	3,228
土地	4,563	4,563
リース資産（純額）	2,700	2,622
建設仮勘定	161	142
その他（純額）	767	691
有形固定資産合計	17,992	17,719
無形固定資産		
リース資産	38	29
その他	356	364
無形固定資産合計	395	393
投資その他の資産		
投資有価証券	324	333
長期貸付金	128	123
破産更生債権等	162	166
繰延税金資産	1,676	1,690
その他	127	116
貸倒引当金	△262	△247
投資その他の資産合計	2,157	2,181
固定資産合計	20,544	20,294
資産合計	51,345	46,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,062	12,000
短期借入金	15,628	3,425
リース債務	699	774
未払金	1,744	2,296
未払法人税等	37	44
未払消費税等	76	48
繰延税金負債	0	0
海外事業等再編引当金	36	36
災害損失引当金	91	81
資産除去債務	17	17
その他	1,245	562
流動負債合計	32,639	19,287
固定負債		
長期借入金	675	9,005
リース債務	2,210	2,055
繰延税金負債	0	0
退職給付引当金	674	731
役員退職慰労引当金	46	11
債務保証損失引当金	33	33
資産除去債務	7	7
その他	151	114
固定負債合計	3,799	11,960
負債合計	36,438	31,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	3,761	3,945
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	14,591	14,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	4
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	316	323
その他の包括利益累計額合計	315	327
純資産合計	14,907	15,104
負債純資産合計	51,345	46,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	28,906	28,275
売上原価	22,338	22,180
売上総利益	6,568	6,095
販売費及び一般管理費	5,735	5,643
営業利益	833	452
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	8	5
為替差益	59	22
その他	109	104
営業外収益合計	181	135
営業外費用		
支払利息	216	142
手形売却損	18	13
売上割引	44	42
支払手数料	—	120
その他	39	39
営業外費用合計	319	357
経常利益	694	230
特別利益		
固定資産売却益	6	—
貸倒引当金戻入額	13	—
受取和解金	—	136
その他	7	—
特別利益合計	27	136
特別損失		
固定資産除売却損	12	41
投資有価証券評価損	3	0
災害損失	470	71
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
その他	—	0
特別損失合計	517	114
税金等調整前四半期純利益	204	252
法人税、住民税及び事業税	28	26
法人税等調整額	5	42
法人税等合計	33	68
少数株主損益調整前四半期純利益	171	184
四半期純利益	171	184

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	171	184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	5
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△15	6
その他の包括利益合計	△11	12
四半期包括利益	159	197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159	197

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	204	252
減価償却費	1,077	1,075
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△14
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	120	△9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	32	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	67	57
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	△34
受取利息及び受取配当金	△11	△8
支払利息	216	142
為替差損益 (△は益)	△15	1
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	3	0
有形固定資産除却損	12	41
有形固定資産売却損益 (△は益)	△6	—
役員退職慰労金	6	38
売上債権の増減額 (△は増加)	2,017	2,355
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△515	△1,350
仕入債務の増減額 (△は減少)	△723	△1,122
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△81	△29
その他	△554	110
小計	1,853	1,506
利息及び配当金の受取額	11	8
利息の支払額	△221	△126
役員退職慰労金の支払額	△6	△38
法人税等の支払額	△51	△28
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,585	1,322
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△391	△546
固定資産の売却による収入	206	—
投資有価証券の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の売却による収入	—	4
貸付金の回収による収入	31	18
その他	△43	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201	△519
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△654	△13,089
長期借入れによる収入	—	10,000
長期借入金の返済による支出	△297	△786
リース債務の返済による支出	△359	△364
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,311	△4,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	57	△3,426
現金及び現金同等物の期首残高	6,100	7,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,158	4,476

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年1月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,542	2,364	28,906	—	28,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	590	640	△640	—
計	26,592	2,954	29,546	△640	28,906
セグメント利益	990	107	1,098	△264	833

(注) 1 セグメント利益の調整額△264百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,959	2,316	28,275	—	28,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	569	587	△587	—
計	25,976	2,886	28,863	△587	28,275
セグメント利益	591	116	708	△255	452

(注) 1 セグメント利益の調整額△255百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。